



# Ayase

NO. 26 2020年 9月15日 編集：綾瀬運輸区分会

2020年9月12日

JR東日本輸送サービス労働組合  
綾瀬運輸区分会  
執行委員長 〇〇〇〇 殿

## 組合員3名連記

### 希望していない異動に対する私たちの思いを聞いてください！

日々組合員のために奮闘する皆さんに大変感謝をいたします。さて、私たち3名は、9月1日、9月7日、9月8日と相次いで「異動の話が来ている。10月上旬で場所は調整中」と退勤後に区長、副区長から異動の意図が突如行われました。

これは、7月に行われた強制転勤と全く同じであり、不誠実なものです。そして、家族に相談できる内容でもなく、今日までには異動先が示されたものの、意図の方法など納得できるものではありません。それは、この間不安な日々が続いたことや職場内の様子が明らかに不穏になり、嫌な空気が流れたからです。「誰が声を掛けられたのか」「次は自分かも」などの自己中心的な言動や「露骨なベテラン外し」「職場の安全は誰が守るのか」など、この間の会社の態度に不安を感じる声が入り混じり、安全レベルの低下につながりかねないと危惧しています。また、私たち組合員を異動させることで、労働組合活動を委縮させるようなことも見え決して許されるものではありません。

少し、現場長とのやり取りを紹介します。

組：10月上旬、場所は調整中。これでどうやって家族に相談するのですか。転勤の話が来た！って言えばいいのですか？

区：それでいいんじゃないの。

組：経過年数や長期滞在者を加味した異動ということですか。

区：そういうことを総合的に勘案して。異動は、全て自分の希望に叶うものではありません。

(乗務前に聞きに行きました)

組：そっちの都合があるかもしれないけれど、こっちも生活がかかっている。試験の合否なら我慢して乗務するが、このままでは不安で乗務出来ない。

区：・・・。車掌業務です。

(乗務前に聞きに行きました)

組：私はどこなのですか。

区：今は忙しいので後にしてください。

～しばらくして～

区：お待たせしました。駅で調整しています。

組：・・・。駅ですか・・・。

また、家族の状況を3回目までメモを取らない姿勢や、面談の担当助役が自己申告書の中身や面談内容を区長へきちんと報告していない事象も明らかになりました。それは、私たちの異動を察知した担当助役がコミュニケーションを急に取り「春の面談内容を見せて、状況を含めて意見を区長にきちんと述べた。担当としては、これ以上はやれない。あとは、人事課が判断することだから、何もできない」と自己保身に走りました。

このようなウソ・デタラメな人事異動が続けば、やがて大きな事故につながりかねないと思いますし、職場内は暗くなるだけです。そこで、私たちが区長・副区長から受けた言動、態度などをすべて明らかにし、今後もジョブローテーションの名を語りながら理不尽・不誠実、労働組合つぶしが目指されている異動を絶対に許さないために、組合員に伝え、今後のたたかひの参考になるような場を設けていただき、全組合員で乗り越えていけたらと考えています。分会大会直前の忙しい中ではありますが、ご検討をお願い申し上げます。私たちは、最後までたたかひ抜きます。

以上

組合員3名から分会へ要請を受ける！

分会は3名の思いに立ち、たたかひをつくりだします！